

理事長挨拶



水野 琢朗

(平成元年2月生 満36歳)
 多治見北高等学校、
 横浜国立大学経営学部卒業
 株式会社皇月屋代表取締役
 (役員1名、正社員2名、パート4名)
 SATSUKI TAILORの経営および
 全国の同業のオーダースーツ店に
 資材の卸販売。

■略歴

実家が多治見で墓石業を営んでいる影響から、自身も自営業を志す。ファッション好きではあったが身長が158cmしかなく既製服では自分に似合う服がなかったことがきっかけで仕立て屋の世界に興味を持ち、全国各地で営業職を経験後、スーツの世界で修行。敢えて縁もゆかりもない土地で勝負したいと思い岐阜市に移住し、2016年レンガ通りにてSATSUKI TAILORを開業。その後旧石神会館を購入し、移転。2020年度より柳ヶ瀬通一丁目の理事長に就任し、連合会の理事にも就任。2021年度より連合会の事業委員長および青年部長就任し、ジュラシックアーケードや夏まつりの実行委員長等を経験し、岐阜大学附属小中学校との連携も推し進める。2023年度より副理事長職、2024年度より理事長職を拝命する。

■商店街内での実績

- 岐阜市と折衝し、商店街の課題に対し制度設計してもらうように働きかけてきた。岐阜市と連携し柳ヶ瀬若手大会議を開催し、2020年より空き店舗への初期改装費補助の項目追加を依頼し、実現させる。また、アーケード問題対策として、柳ヶ瀬北部・西部エリアの未来を考える協議会を複数回開催。2024年度より岐阜市に、中心市街地みらい戦略課も立ち上がり、今後より一層アーケード問題について協議を進めていく。
- 理事長を務める柳ヶ瀬通一丁目では、理事長就任以降、新規出店が増えており、組合員数を7人増やすことに成功。理事会の世代交代も進みつつある。

この度岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会の理事長職を拝命しました水野と申します。くしくも今年、柳ヶ瀬生誕135周年のタイミング。歴史あるこのまちの大役を担う重責を感じると共に、この任を与えてくださった商店街の諸先輩方に感謝御礼申し上げます。高島屋の撤退、アーケードの老朽化問題等、昨今柳ヶ瀬を取り巻く状況は非常に難しいところがございます。しかし、こうした状況だからこそ、あえてこの任を受けることに致しました。私は、年齢的にもまだこのまちで30年はこの先商売をしていこうし、地権者としてこのまちを守っていく責務もあると思っております。このまちの未来を考えると今、この変化の真っ只中こそ動かねば、きっと将来後悔することになると覚悟しました。つきましては、私が理事長をするにあたっての想いとビジョンをこの冊子にまとめましたのでご一読いただけますと幸いです。

何故、理事長職をやるのか？

柳ヶ瀬の可能性を誰よりも信じているから

- ① ショッピングセンターでは作れない付加価値がこのまちにはある
- ② コロナ禍に関わらずここ数年力ある個店が確実に増えてきている
- ③ 良いも悪いも含めて市民にとって自分事になる稀有なエリアである

何をなすべきか？

柳ヶ瀬を令和の時代に合わせて「変化」させること

- ① 先送りしてきた商店街の難題に結論を出すこと
- ② 新住人増加のチャンスを生かす
- ③ 行政任せではなく、自分たちの手で新しいまちを上げる

何を目指すのか？

柳ヶ瀬を今一度日本一のまちへ

- ① 岐阜の強い個店に出店したいと思われるまちへ
- ② 次世代に自信をもって受け継げるまちへ作り変える
- ③ 紡いだ歴史と文化を生かし、独自性の高いまちづくり

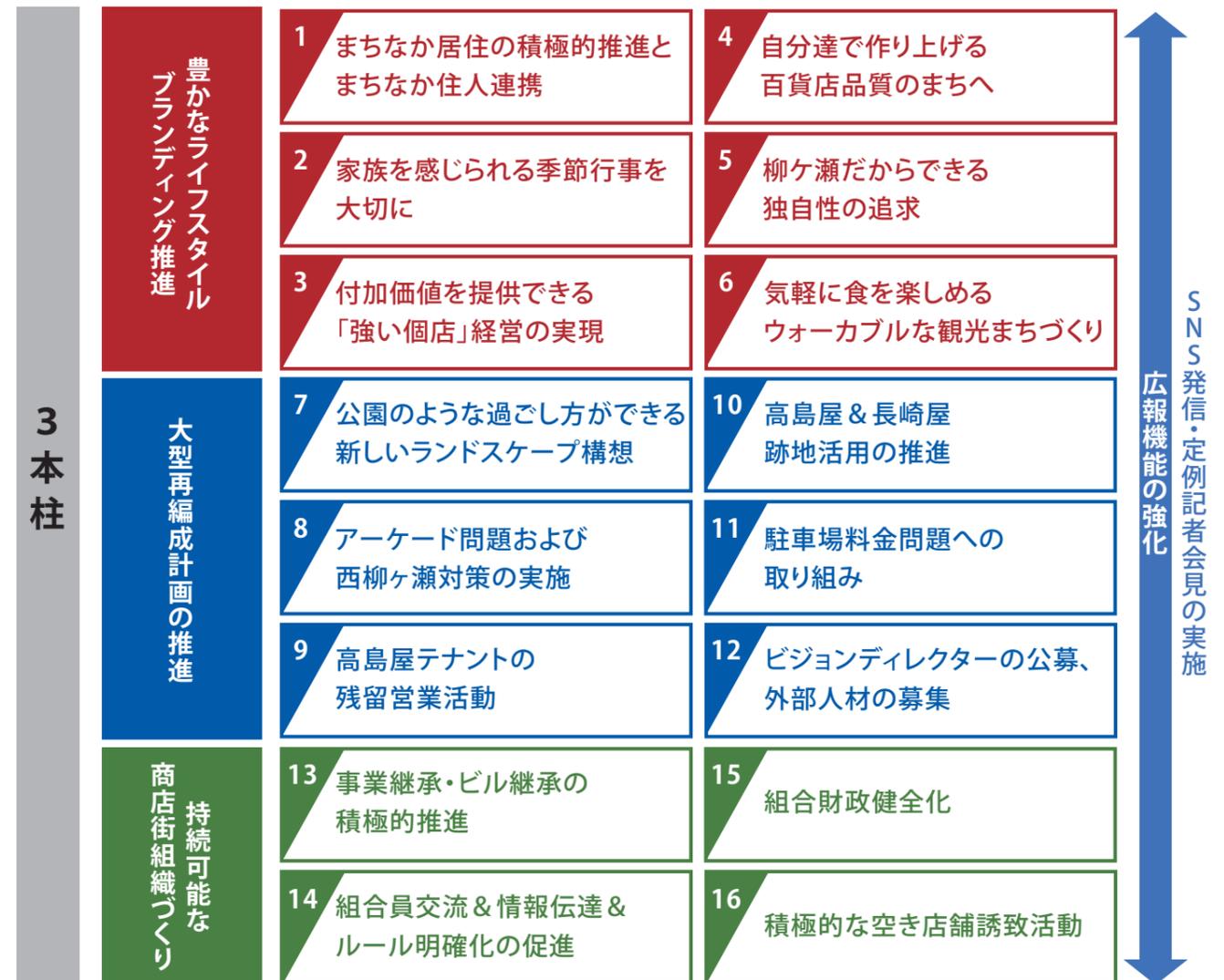
YANAGASE VISION150

2039年柳ヶ瀬150周年に向けた柳ヶ瀬再編計画

～Life Rich Yanagase～

商品を販売するまちから、豊かなライフスタイルを提案し続けるまち

コンセプト



ゴール

柳ヶ瀬を岐阜市民の誇りとなる場所へ

魅力的な強い個店が集まり、居住者も増え、安定的に来街者が集う空間化にし、今一度柳ヶ瀬を岐阜市民の誇りとなる場所へ

※岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会の役割はこれまで大型イベントの実施母体としての立ち位置が強かったがこれは今後縮小していく。上記のビジョンの推進を主とし、単組では取り組みにくい長期的視野に立った商店街運営を行っていく。